



2月9日は『服の日』記念日

“ファッションから環境を考える”

～ 自然と共存する未来型エコ商品の提案～

はるやま商事株式会社（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：治山正史）は、毎年 2 月 9 日を『服の日』記念日として新未来型記念商品を開発・提案発表しています。今年で 10 年目を迎え、今回も社内提案制度での提案やお客様からのCSハガキのご意見を参考に、デザイナー、取引メーカーと協力し、新未来型商品の製品化を実現致しました。

今回は、近年重視されている環境問題に注目し、『エコ』をテーマに取り上げました。現代社会では経済成長とともに自然破壊が進み、それが原因で多くの環境問題を引き起こしています。山、川、海、木、水、光、土、生物、人間・・・それぞれが循環することで共存しています。私たち人間が生活できるのも、この自然の循環があってこそです。

そこで今回は『自然との共存』をテーマに、間伐材や端材を使用したベルト、籐で作った洋服を、エコへの取り組みで有名なデザイナー古川雲雪先生と共同で製品化しました。古川先生は環境への意識が高く、これまでもリサイクルペットボトルを使用したスーツや吉野和紙を使用したベルトを発表されています。今回の試みにも快く協力してくださいました。

今後の商品化について

ホームページ上でお客様のご意見・ご要望をお寄せいただき、商品化へと進めて参ります。

提案 1. 間伐材、倒木、端材などの木材から作ったベルト

森林は国を災害や環境汚染から守ります。しかし現状日本の森林は人材不足や木材価格の低迷で、間伐などの手入れが進まず荒廃しているのが現状です。間伐材の有効活用方法を見出し使用していくことで、需要の面からも間伐の必要性を高めていくことが環境保護につながっていきます。

こちらが間伐材、端材などの不要素材を使用したベルトです。ベルトの表面に木を使用、特殊加工にて自然な木目を残しています。裏面は革製の為、実際の占め心地は一般的に使用されているベルトと変わりありません。バックルはそのままの木目を生かしたり、絵をいれたりしてイメージを変えることができます。



提案2.土に還る「籐」の服

通常服は糸から作りますが、科学繊維などが含まれる為、廃棄時そのままでは土に還りません。そこで“土に返る素材から服を作る”という新しい発想で製品化を試みました。こちらはコルセット状になった服ですが、全て籐からできています。

<フロントスタイル>



下に着ているワンピースはイメージです。

<バックスタイル>



後のリボンは布製。

本件に関するお問い合わせ先

はるやま商事株式会社

〒700-0822 岡山県岡山市表町 1-2-3

TEL : 086 - 226 - 7121

FAX : 086-225-2709

広報担当 : 山本・広畑